

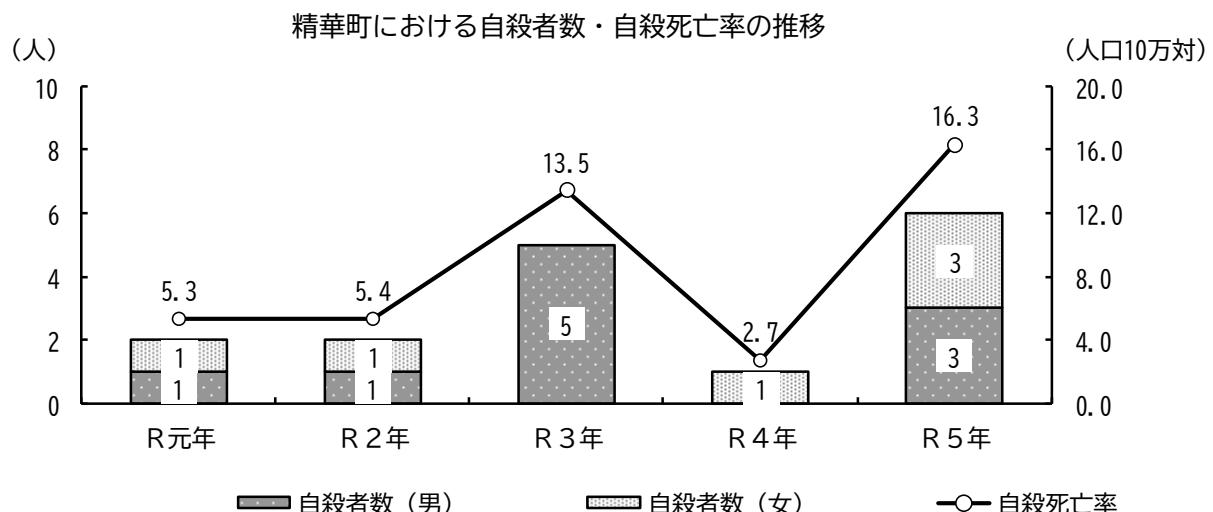
精華町の自殺の現状

自殺に関する統計

(1) 自殺者数・自殺死亡率の状況

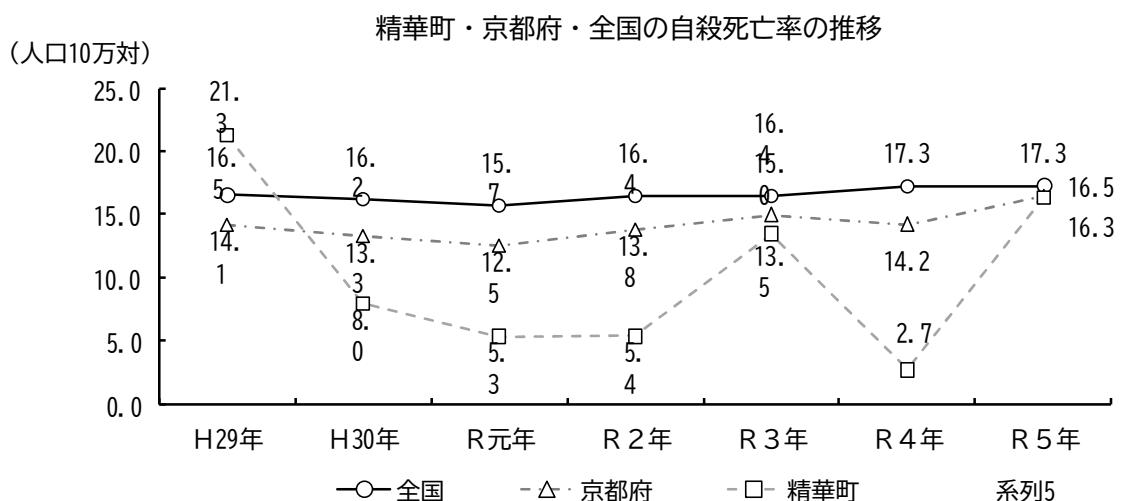
本町の年間の自殺者数は年によってばらつきがあり、過去5年間の経過をみると、1人から6人と増減を繰り返しています。

また、男女比をみても、年によってばらつきがあります。



資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

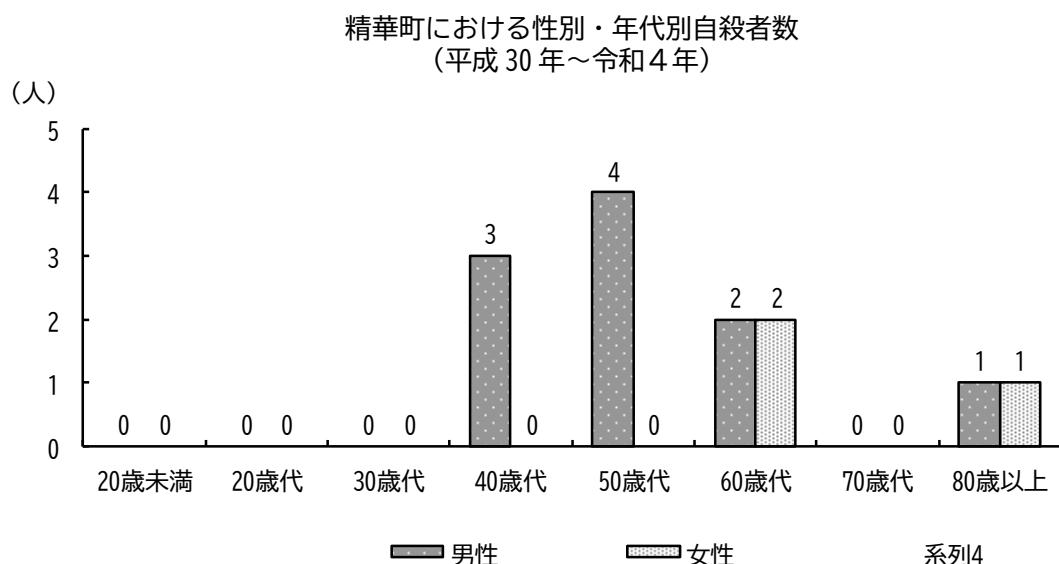
本町と京都府・全国の自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）の推移をみると、京都府・全国の自殺死亡率はほぼ横ばいで推移しているのに対し、本町の自殺死亡率は、全般的に増減を繰り返しています。



資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

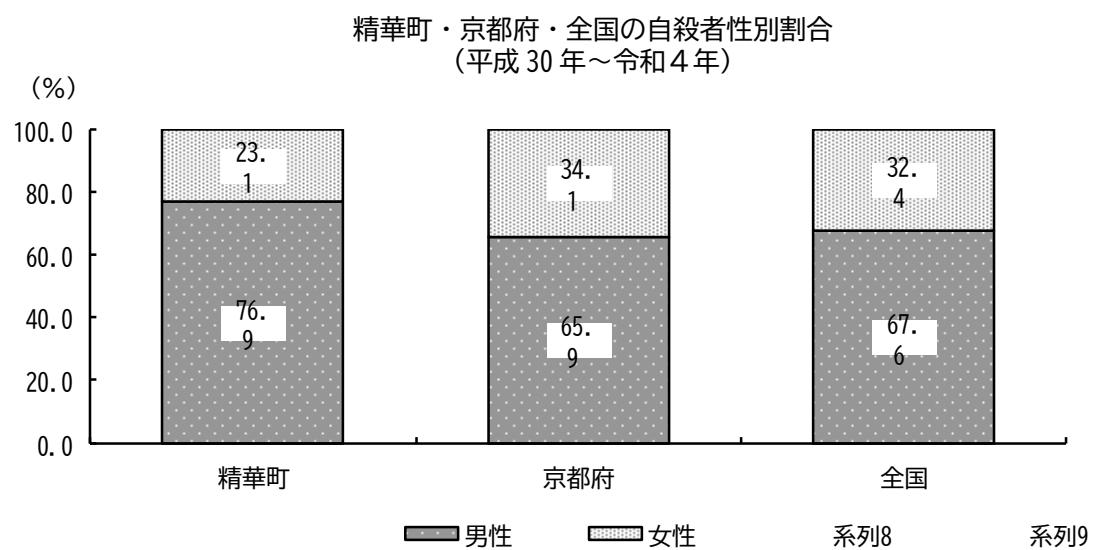
(2) 性別・年代別の状況

本町の自殺者数の累計は5年間で13人です。年代別にみると、男性では「50歳代」が最も多く、次いで「40歳代」となっています。女性では「60歳代」が最も多く、次いで「80歳以上」となっています。



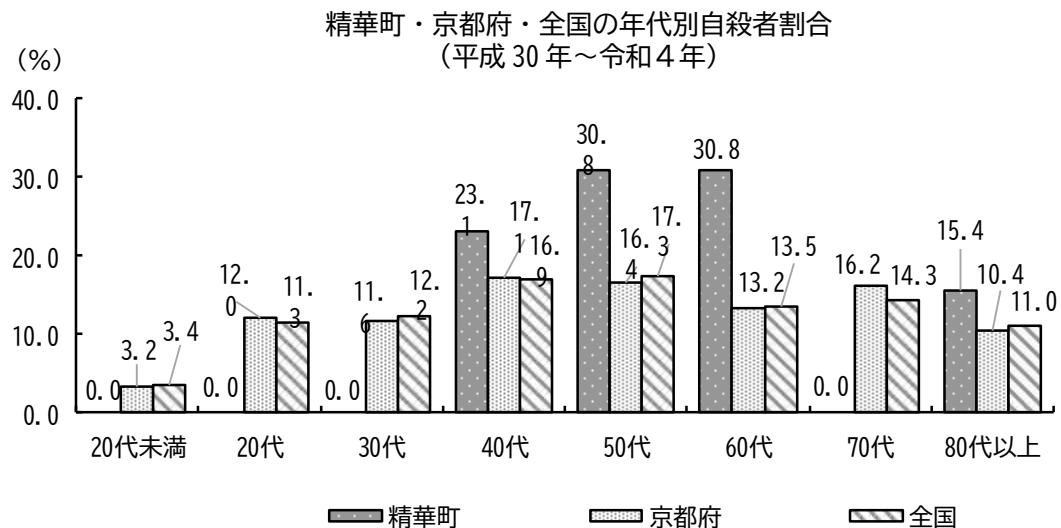
資料：「地域自殺実態プロファイル」

精華町・京都府・全国の自殺者性別割合をみると、本町では京都府・全国と比較すると、男性の割合が高くなっています。



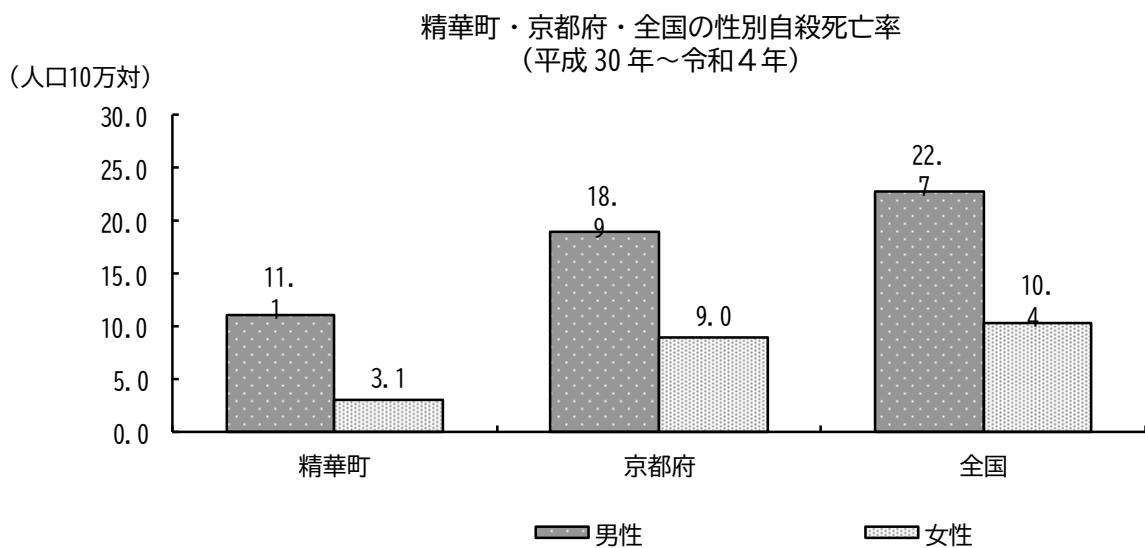
資料：「地域自殺実態プロファイル」

本町の年代別自殺者割合を京都府・全国と比較すると、「40代」、「50代」、「60代」の割合が特に多くなっています。



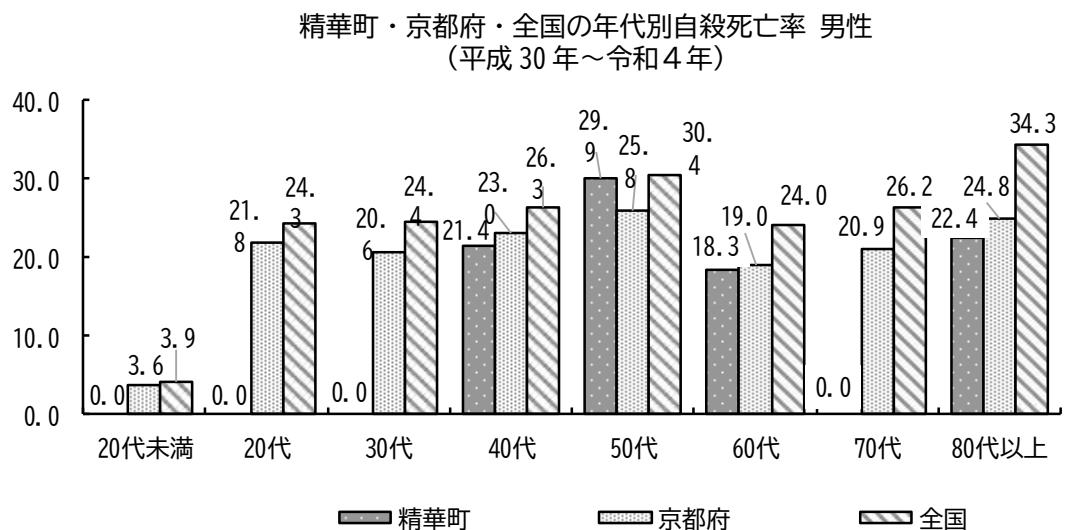
資料：「地域自殺実態プロファイル」

平成30年から令和4年までの本町の性別自殺死亡率を京都府・全国と比較すると、男女ともに京都府・全国よりも低くなっています。



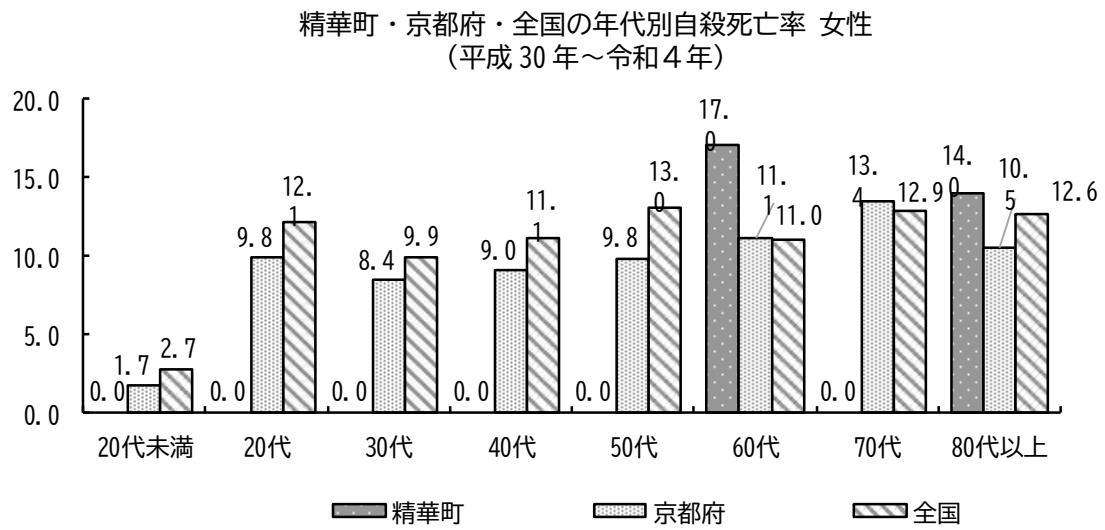
資料：「地域自殺実態プロファイル」

平成30年から令和4年までの本町における年代別自殺死亡率を京都府・全国と比較すると、男性では「50代」が高くなっています。



資料：「地域自殺実態プロファイル」

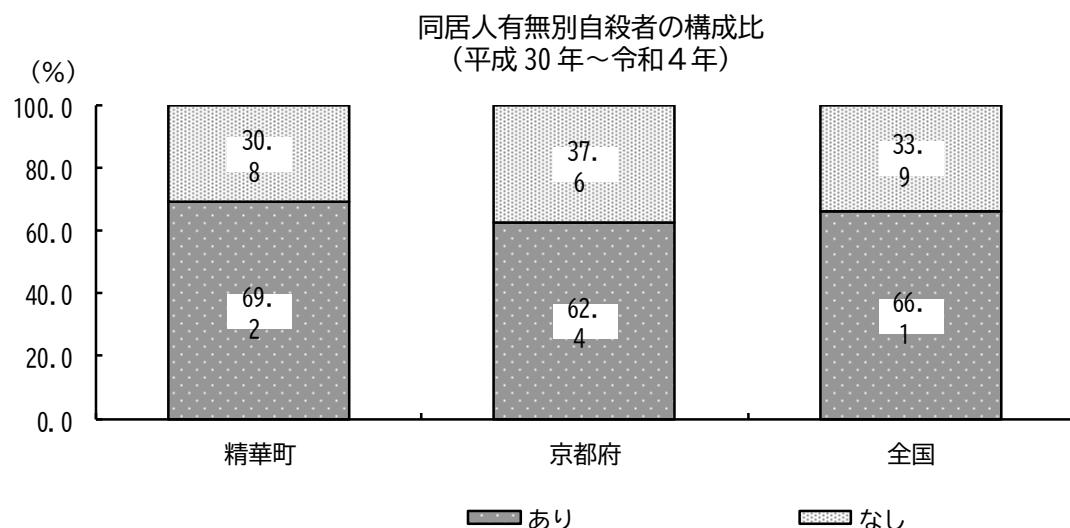
本町における女性の年代別自殺死亡率を京都府・全国と比較すると、特に「60代」、「80代以上」が京都府・全国より高い状態となっています。



資料：「地域自殺実態プロファイル」

(3) 同居人の有無別の状況

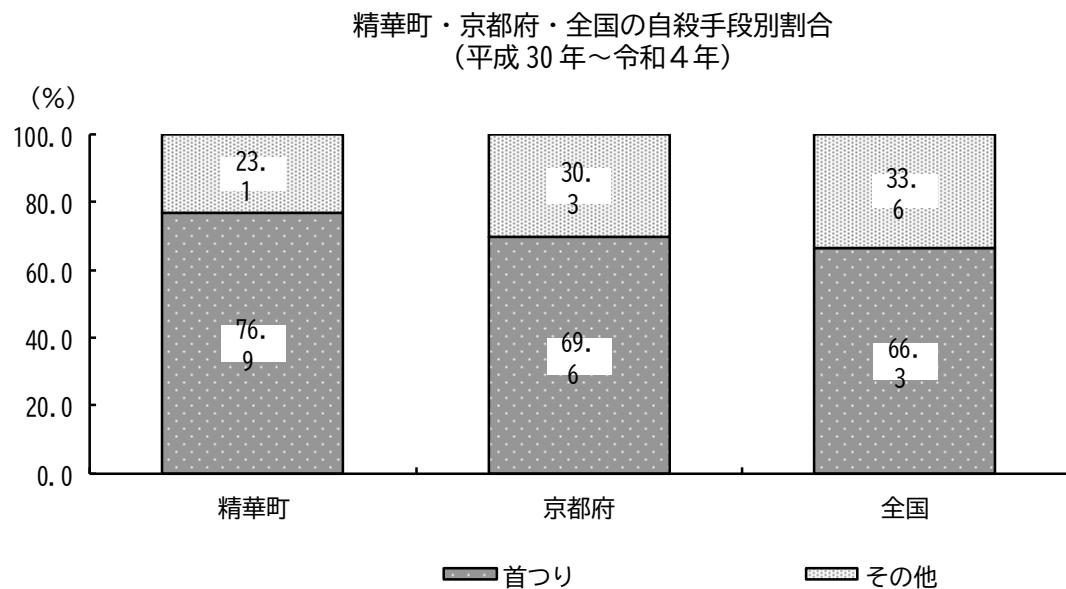
平成30年から令和4年の自殺者の同居人の有無別の構成比をみると、本町では同居人「あり」の割合が69.2%と京都府・全国と比較すると多くなっています。



資料：「地域自殺実態プロファイル」

(4) 自殺手段

平成30年から令和4年までの本町における自殺手段を京都府・全国と比較すると、本町は、「首つり」の割合が京都府・全国に比べ多くなっています。



※ 精華町は「首つり」以外の手段が公表不可となっています。

資料：「地域自殺実態プロファイル」